

自主防災会だより

発行者：東生駒南自主防災会

発行日：令和3年 12月1日

第25号



生駒市総合防災訓練への参加

11月14日、日曜日に、生駒市総合防災訓練が生駒東小学校でありました。

今年は、生駒市と自治連合会が共催で訓練を実施しました。市災害対策本部と避難所との防災行政無線を利用した情報伝達訓練をすることと、前もって班の被災状況を記入する表が配られていました。当日朝8時半に防災スピーカーで地震防災訓練の放送が流れ、東地区連合自治会主催の訓練が開始されました。各自治会からは数名の班長が参加しました。



東地区連合自治会に所属する中の12の自治会の班長が、地震発生後の状況を東小に報告しに集合し、それぞれ前もって配られていた班単位の名簿をもって状況報告を行いました。

名簿の情報を記載した後、運動場にある防災用水を見学し、災害時の応急給水活動について生駒市の職員から説明を受けました。この際、職員より公の給水活動による供給には限界があるので、普段から飲み水の備蓄や、災害時直後の水が出る間に浴槽等への貯水の必要性の話がありました。



次に小学校の防災備蓄倉庫の見学をし、一覧表を見ながらその内容についての説明がありました。その後、体育館の入り口にある防災無線を見せていただき、実際にどのようにして交信するのかの説明を受けました。この電源は常に入った



状態にする必要があり使用後も切らないようにとの話がありました。

最後に体育館でグループごとの反省会がありました。そこで出された意見として、「災害時に各自治会の全班長が個々に状況報告をしに来るのは無理があり、ここでは避難所を利用する人たちの受付名簿作成が優先されるべき」

「避難所に来た人の受付・誘導の在り方は人を配置するだけでは分かりにくいので、看板や矢印など目で見て分かりやすいものを設置する」等が出されました。避難所運営の在り方には、課題が山積していることが分かりました。

